

平成28年度 飯豊町のわかりやすい予算書

目次 contents

- 1～4 予算の概要
一般会計の歳入、歳出
- 5～11 主要事業編
主な事業の概要
- 12 地方創生への取り組み
- 13 財政健全化指標・予算・
町債残高・基金の推移

基礎知識編

Q 飯豊町の平成28年度の予算はどのくらいですか？

A 一般会計、特別会計、企業会計すべての会計を合わせると、113億1,350万円になります。

一般会計	72億5,100万円（前年比1.3%増）
特別会計	33億6,084万円（前年比2.5%増）
企業会計（水道事業）	7億166万円（前年比1.4%減）

（※各会計とも1万円未満の端数を調整しています）

平成28年度の予算額は、一般会計は前年度比1.3%増の72億5,100万円で、6年続けての増額予算となりました。特別会計と企業会計を合計したすべての会計合計でも113億1,350万円で過去最高額の予算額となりました。

Q そもそも予算とは何ですか？

A 予算とは、1年間の収入と支出の見積もりです。

新しい年度が始まる前に、その1年間でどのくらいの収入があるのか、1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。予算を見れば、1年間に飯豊町でどのような収入があり、何に使っているのかがわかります。

Q 予算はどうやって決まりますか？

A 町長がまとめた予算案を町議会で審議し、議会の議決によって予算が成立します。

飯豊町では、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、基本構想・基本計画・実施計画・地区別計画から構成される第4次飯豊町総合計画に定めた目標を達成するための、効果的な予算の編成について検討します。

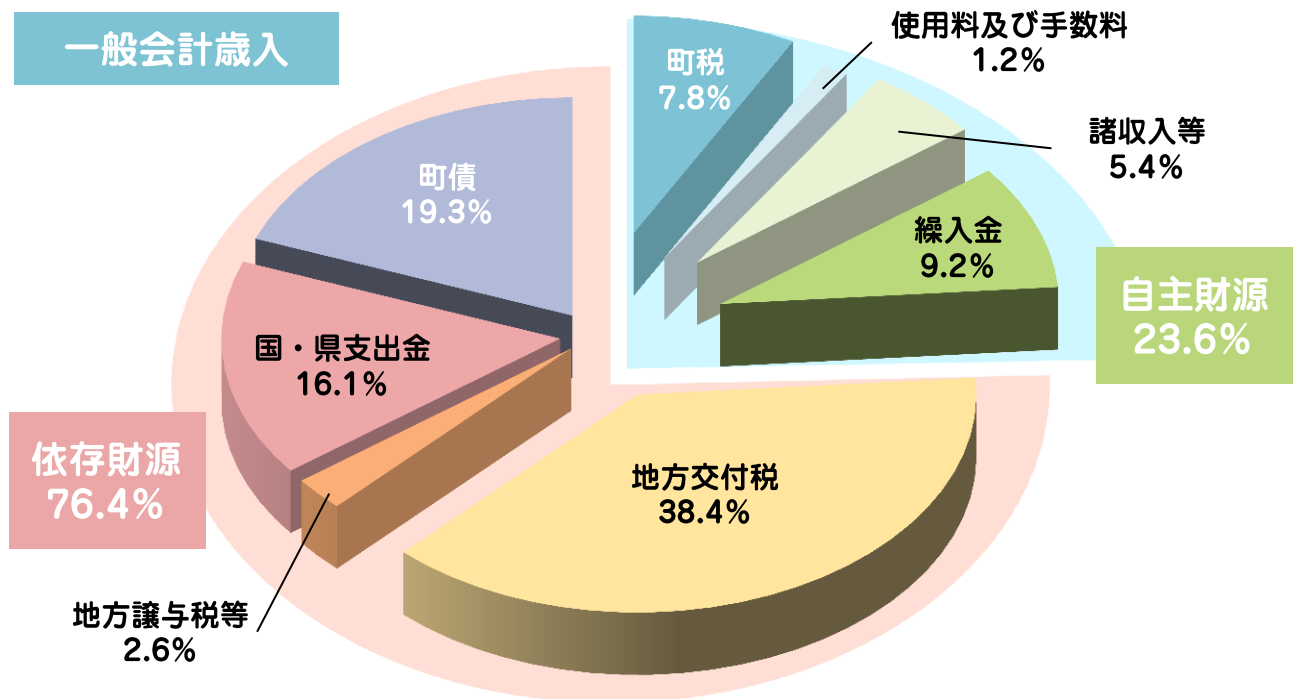
その上で、財政計画や個別の事業計画、公約などと照らし合わせて、町長が各課で出された案を自分の考えにそって予算案をまとめ、町議会に提出します。町民を代表する町議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議した上で、町議会の議決によって成立します。

補 足 ポ イ ン ト

- ①特別会計には、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業会計などがあります。特定の収入(保険料など)によって賄われている事業について、一般会計とは分けて経理します。

Q 平成28年度の飯豊町の歳入の内訳はどうなっていますか？

A 一般会計の歳入には、町税や国・県からの支出金、地方交付税、銀行などからの借入金、基金からの繰入金などがあります。



Q 他の市町村と比べてどんな特徴がありますか？

A 平成28年度の飯豊町の歳入予算では、類似団体と同様に地方交付税に財源の多くを依存しています。また、自主財源となる町税については、相対的に低くなっています。その分を補うように町債や繰入金の割合が大きくなっています。

自主財源が相対的に小さく、その分を町債や繰入金で補っているのは、第一小学校の改築などの投資的経費に係る大型事業が予定されているためです。こうした大型の事業の財源をまかなうために町債などを発行したり、特定の目的のために貯めておいた基金などを取り崩して財源としています。

補 足 ポ イ ン ト

- ②収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」といいます。
- ③「自主財源」とは町が自主的に収入できる財源、「依存財源」は国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられる財源のことです。
- ④類似団体とは、人口や産業構造によって分類された同じ類型グループの自治体をいいます。
- ⑤基金とは、特定の目的のために維持、積立、運用するために設ける財産のことです。

基礎知識編

Q 平成28年度の歳出の内訳はどうなっていますか？

A 民生、教育、土木など13の目的の歳出があります。

歳出をサービスごとに分類したものを、歳出の「目的別」の分類といいます。

平成28年度は、第一小学校改築工事の校舎本体工事など教育費が25.2%、子育て支援医療給付の対象拡大など民生費が17.4%、畜産生産拡大支援事業など農林水産業費が14.2%などとなっています。

目的別経費	当初予算額 (万円)	町民一人あたり 予算額(円)	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	7,747	9,991円	1.1
総務費 (庁舎管理運営、広報などに要する経費)	86,605	114,663円	11.9
民生費 (子育て支援や高齢者福祉、医療などに要する経費)	126,372	167,314円	17.4
衛生費 (健康づくり推進、ごみ処理、環境などに要する経費)	30,644	40,572円	4.2
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	1,592	2,108円	0.2
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	103,284	136,747円	14.2
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	21,789	28,848円	3.0
土木費 (道路、河川などに要する経費)	76,281	100,994円	10.5
消防費 (消防や救急などに要する経費)	24,268	32,130円	3.4
教育費 (学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに要する経費)	182,339	241,413円	25.2
災害復旧費(災害復旧に要する経費)	2,515	3,330円	0.4
公債費(借入金の返済などに要する経費)	61,164	80,980円	8.4
予備費	500	662円	0.1
歳出合計	725,100	960,016円	100.0

(※一人あたり予算額はH28.1.1時点の住民基本台帳人口によるものです)

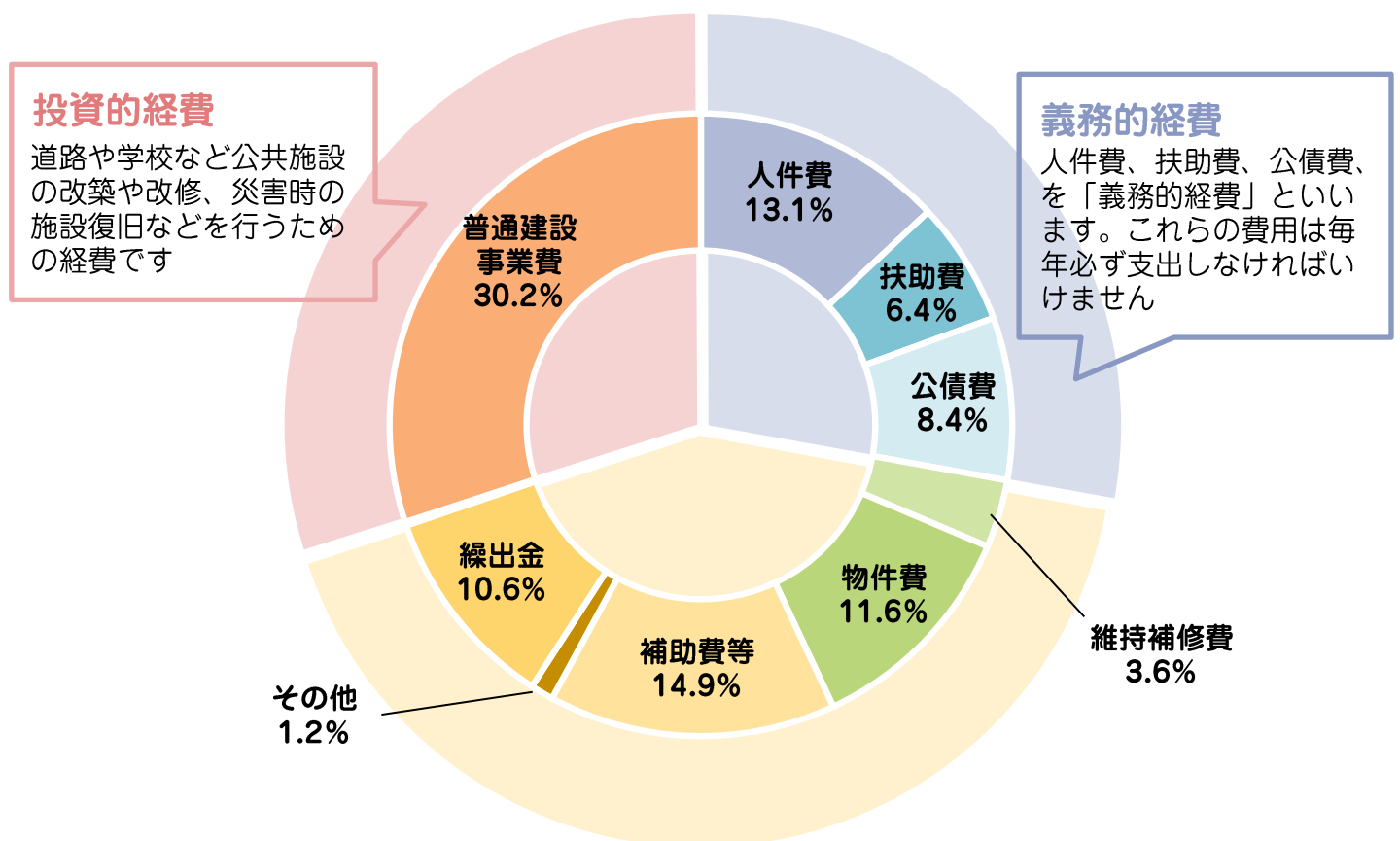
補 足 ポ イ ン ト

⑥個々の市町村の財政運営は、その置かれた条件によりそれぞれ様々で比較が困難ですが、一つの指標として類似団体との人口一人あたりの経費を比較するという尺度があります。

Q 歳出のうち、人件費はどのくらいの割合ですか？

A 性質別に分類すると約13%であることが分かります。

「目的別」の分類に加えて、人件費や借入金の償還に関する公債費、道路や学校などの公共施設の改築などの普通建設事業費など、その支出が何に支出されているかを分類したものが「性質別」の分類です。



【義務的経費】 20億2,022万円

人件費 9億4,357万円、扶助費 4億6,501万円、
公債費 6億1,164万円

【投資的経費】 21億9,308万円

普通建設事業費 21億7,931万円、災害復旧費 1,377万円

【その他経費】 30億3,770万円

物件費 8億4,281万円、維持補修費 2億5,580万円、補助費等
10億8,200万円、繰出金 7億7,055万円、その他 8,654万円

補 足 ポ イ ン ト

⑦目的別や性質別など、歳出の状況を違う角度からみることで、飯豊町の現在の状況や、どんな分野に力を注いでいるかなどを知ることができます。

主要事業編（町総合計画の7つの柱）

1. にぎわいあふれるまちづくり

子育て支援策の拡充

子育て支援医療給付の拡大（18歳までの医療費無料化）／ 保育料等の軽減／妊婦検診時の超音波検査の自己負担軽減

551万円

現在実施している中学生までの医療費無料化について、平成28年度から18歳までに拡充するほか、保育料等の軽減、妊婦検診における超音波検査などの自己負担の軽減などを新たに実施し、子育て支援対策を積極的に推進します。



財源
内訳

一般財源	551万円	担当：住民税務課、教育総務課 健康福祉課ほか
------	--------------	---------------------------

地域づくり推進のための各地区への補助金

831万円

第4次飯豊町総合計画に基づく地区の主体的な活動に対し、「地域づくり推進事業費補助金」として支援します。

また、「地域づくり推進事業+（プラス）」を創設し、これまでの財政支援に加え、人的支援、情報支援も含め、多様な主体による自立したまちづくり活動の取り組みを推進します。



財源
内訳

基金繰入金等	709万円	一般財源	122万円	担当：総務企画課 総合政策室
--------	--------------	------	--------------	----------------

少子化・婚活、定住対策

少子化・婚活事業対策補助金／いいですね定住推進事業等

1,486万円

人口減少、少子化、若者の晩婚化等の課題に取り組むため、町内男性を対象に登山や体質改善教育といった体験を通して人間形成を図る事業、Iターン・Uターンを希望する女性が取材記者になり、町を訪れて感じたことをまとめてパンフレットとして発行する事業に取り組みます。

平成28年度から新しくなった飯豊町ふるさと定住いいですね条例では、住宅取得への支援をはじめ、結婚、出産、入学など人生の節目にお祝いを贈り、「ふるさといいで」への移住・定住を奨励します。



財源
内訳

地方債	900万円	一般財源	586万円	担当：総務企画課 総合政策室
-----	--------------	------	--------------	----------------

2. 自然と共生するまちづくり

環境学習の推進、森林資源の利用促進

森づくり支援事業 / 森林資源の利活用推進 / 自然環境学習・体験学習の推進

542万円

豊かな森林をはじめとする自然環境について、学び、観察し、ふれあう活動のほか、親子木工体験教室などを実施します。

また、豊かな森づくりのための植樹のほか、森林資源の利活用や整備に関する事業を実施します。



財源
内訳

県支出金	542万円	一般財源	—	担当：農林振興課 農林整備室
------	-------	------	---	----------------

木質燃料利用促進事業

175万円

ペレットストーブを設置し、かつ一定期間利用されることを条件に、ペレットストーブの設置に要する経費の1/2を助成します。また、町内産木質ペレットの購入にポイントを進呈し、一定ポイントがたまると、町内の指定店舗等で使用できる商品券と交換できる「木質ペレット版エコポイント事業」を継続して実施します。



燃料として使用する木質ペレット

財源
内訳

	一般財源	175万円	担当：農林振興課 農林整備室
--	------	-------	----------------

農業集落排水事業（手ノ子地区の事業推進）

3億6,000万円

生活排水対策・水環境保全対策として、平成24年度より手ノ子地区を対象に農業集落排水施設の整備事業を進めています。平成28年度から終末処理場の建設に着手するとともに、汚水管の整備を継続して実施します。

※ 終末処理場とは、下水を最終的に処理して河川等の公共水域に放流するための施設のことで



本事業は水環境保全にも寄与します

財源
内訳

県支出金	1億5,000万円	地方債	2億370万円	分担金	630万円	担当：地域整備課 上下水道室
------	-----------	-----	---------	-----	-------	-------------------

主要事業編（町総合計画の7つの柱）

3. 生きがいと笑顔のまちづくり

健康・元気で町ポイント事業

33万円

健康づくりへの動機づけや運動習慣の定着化を目的として、町が実施する各種の健康診査や健康づくりの事業などに参加した方にポイントがもらえる「健康・元気で町ポイント事業」を継続して実施します。たまったポイントに応じて、町が準備する特典と交換することができます。



財源
内訳

一般財源 **33万円**

担当：健康福祉課 健康医療室

生活支援

配食サービス事業 / 除雪費の助成

822万円

家族環境の変化により、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯等が増加しているなか、高齢の方が健康で安心して生活できるよう支援します。

配食サービス事業では、平成28年度もモデル地区を選定し、栄養バランスに配慮した弁当を定期的にお届けし、地域にあった配食サービスの仕組みづくりを実施します。また、冬期間も安心して暮らせるよう、屋根の雪下ろしや住宅回りの除雪作業への除雪ヘルパー派遣、除雪費用の一部助成を行います。



財源
内訳

基金繰入金 **200万円**

一般財源 **622万円**

担当：健康福祉課 福祉室

見守り支援

「命のバトン」推進 / 緊急通報事業 / 安心生きがい訪問など

894万円

一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯等の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、見守り活動を実施します。

「命のバトン」（自分の氏名やかかりつけ医・服薬状況などの医療情報、緊急連絡先などを記入した情報シートの入った筒）を所定の場所（冷蔵庫）に保管することで、自宅での救急搬送や災害時に必要になった場合に、救急隊がその情報シートを参考に救急医療に活かすことを目的とした事業を実施します。

また、緊急通報装置の設置や郵便局と連携した見守り活動、ヘルパーによる定期訪問など継続して実施します。



財源
内訳

一般財源 **894万円**

担当：健康福祉課 福祉室

4. 豊かな感性を育むまちづくり

教育環境の整備、充実

第一小学校校舎改築事業 / いいで希望塾の継続実施

12億4,132万円

平成28年9月の校舎完成に向けて、引き続き第一小学校の校舎本体及び外構工事を実施します。また、児童教育用備品（パソコン・タブレットなど）を整備するなど学習環境の整備、充実を図るほか、町営学習教室「いいで希望塾」を継続実施し、学校以外での学習の機会を確保することにより、生徒一人ひとりの学力と自信を高めます。



財源内訳

地方債等	11億5,201万円	一般財源	8,931万円	担当：教育総務課 学校教育振興室
------	------------	------	---------	------------------

飯豊わくわくこども園の運営（さゆり保育園、いいで中部幼稚園を幼保連携型認定こども園として開所）

4,701万円

教育と保育を一体的に行い、幼稚園と保育園の両方の良さを合わせ持つ幼保連携型認定こども園「飯豊わくわくこども園」が開所されます。

「学びの芽生え」を大切にし、幼児期から児童期の発育の連続性を目的として、これまでの幼稚園児と保育を必要とする児童が同じ施設で共に「保育・教育」を受け、共に小学校に入学することで切れ目ない子育て支援に取り組みます。



財源内訳

国県支出金等	397万円	一般財源	4,304万円	担当：教育総務課 子育て支援室
--------	-------	------	---------	-----------------

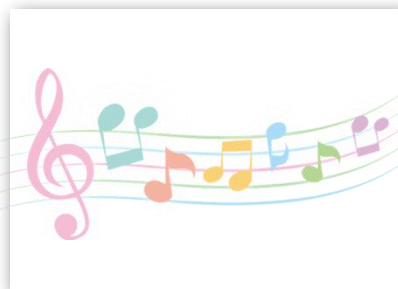
音楽からのまちづくり

めざみの里カンタート / プルト・フェット・ド・ラ・ミュージックなど

444万円

著名な講師をお招きし、ヴォイストレーニングやレッスン、講習会などを実施するめざみの里カンタートを開催し、町民の方も広く音楽に親しむことができる内容を企画します。

また、まちかどコンサートとして開催しているフェット・ド・ラ・ミュージックを、平成28年度は夏至の日の前にプルト・フェット・ド・ラ・ミュージックとして実施するほか、めざみの里まつりでのファミリーコンサート、めざみの里音楽祭、子ども芸術鑑賞教室などを通し、音楽からのまちづくりを推進します。



財源内訳

雑入等	49万円	一般財源	395万円	担当：社会教育課 まちづくり室
-----	------	------	-------	-----------------

主要事業編（町総合計画の7つの柱）

5. こだわりの産業づくり

地方創生加速化のための事業

（※平成27年度補正予算で平成28年度に繰り越して実施する事業です）

山形大学xEV飯豊研究センター / 飯豊町応援隊を活かした交流加速化による産業創出事業

5,700万円

平成27年12月に完成した「山形大学xEV飯豊研究センター」を中心としたしごとの創出へ事業を発展・加速化するため、「xEV飯豊寮・交流カフェ」を整備し、地元住民及び研究者・観光客・学生の交流から新たな産業や雇用の創出を促進します。



山形大学xEV飯豊研究センター

財源
内訳

国県支出金

5,470万円

一般財源

230万円

担当：商工観光課 産業連携室
総務企画課 総合政策室

6次産業化推進事業 /

高円寺純情コミュニティカフェ&ショップIIDEの運営

805万円

平成26年度に東京都杉並区高円寺純情商店街にオープンした「高円寺チャレンジショップ」を拠点として、町内製品の販売やPR、農村と都市との交流、首都圏へ向けた様々な情報発信などを継続して実施するほか、新たにチャレンジショップ利用者や高円寺純情商店街との交流事業を実施します。

また特産品の開発に向けた取り組みへの支援、生産者等が自ら行う販路拡大事業への支援を行います。



高円寺のカフェ&ショップIIDE

財源
内訳

基金繰入金

500万円

一般財源

305万円

担当：商工観光課 産業連携室

商業振興事業（空き店舗の活用事業） / 中小企業振興事業費補助金の見直し、一部拡充

7,100万円

町商工会と連携して、町内の空き店舗の考査及び活用方法を検討し、実際の空き店舗を活用した事業展開を目指します。

また、中小企業振興事業費補助金を見直し、正規雇用に関する要件を緩和するほか、創業支援、xEVセンター等のための宿泊施設等整備を追加する他、商店等の設備更新を支援します。

※ 補助については、それぞれ要件がありますので担当課までご確認ください。



財源
内訳

一般財源

7,100万円

担当：商工観光課 産業連携室

6. 安心・快適なまちづくり

地域防災力の強化

西置賜消防署飯豊分署建設事業 / 消防団員資器材の充実・機能強化、団員報酬の改定

1,999 万円

西置賜消防署飯豊分署について、西置賜行政組合とともに、置賜農業高等学校飯豊分校跡地に新庁舎を建設し、平成29年4月から新庁舎での業務開始を予定しています。

また、消防団の車両、ポンプ庫の更新、団員配備資器材の充実・機能強化により、さらなる町の防災力の強化を図るほか、消防団員報酬の一部改定を実施します。



財源内訳

地方債	560万円	一般財源	1,439万円	担当：総務企画課 情報防災室ほか
-----	-------	------	---------	------------------

空き家対策

老朽危険空き家対策事業 / 空き家バンク事業

1,121 万円

町民の安全で安心な居住環境と町の美しい景観を守るため、町内にある危険な老朽空き家の解体撤去工事に対して、町が補助金を交付するなどの取り組みを進めます。

また、空き家を売りたい、貸したい「空き家所有者」と、空き家を買いたい、借りたい「利用希望者」の橋渡し(紹介)を行う「空き家バンク事業」を行っています。空き家の有効活用により老朽化を防ぐことができるほか、都市との交流、移住・定住を推進します。



財源内訳

国県支出金等	1,024万円	一般財源	97万円	担当：住民税務課 生活環境室 総務企画課 総合政策室
--------	---------	------	------	-------------------------------

上水道事業（新水源開発の推進）

4 億円

より安心して利用いただける飲料水を提供できるよう、昨年度から大字中地内に「中水源」を開発整備しています。

平成28年度は、新たな水源地となる中浄水場から菰生配水池へ送水するための水道管を整備します。施設稼働は平成29年度からを予定しています。



新水源井戸ボーリングの様子

財源内訳

地方債	1億円	建設改良積立金	2億円	損益勘定留保資金	1億円	担当：地域整備課 上下水道室
-----	-----	---------	-----	----------	-----	----------------

(※ 財源内訳は、企業会計上の財源区分で表記しています)

主要事業編（町総合計画の7つの柱）

7. 持続可能なまちづくり

ふるさと応援寄附金の推進

6,489万円

生まれ育ったふるさとや、縁のある自治体への寄附金制度「ふるさと納税」を推進します。

寄附のお礼として町の特産品を送付するほか、寄附者が選択した用途に寄附金を活用することにより、ふるさとを応援したい・関わりたいとの想いを実現します。



財源
内訳

一般財源	6,489万円	担当：総務企画課 総合政策室
------	---------	----------------

地場産農産物消費拡大支援事業

107万円

地産地消の拡大を目的として、学校給食における食材の町内産品の利用を推進し、給食を通して地域の農産物や生産者について考える食育の機会を推進します。

また、町内の農産物加工販売事業者が実施する地場産農産物の拡大を推進する事業、加工品の試作補助などを継続して実施します。



財源
内訳

雑入	9万円	一般財源	98万円	担当：農林振興課 農業振興室
----	-----	------	------	----------------

「広報いいで」の発行 / 行政情報のメール配信

288万円

「広報いいで」は、本紙の特徴である“飯豊町に生きる人を応援する”紙面を継続し、充実の地域情報をよりタイムリーに発信します。町民の皆さんのまちづくりへの関心を高め、飯豊町に住んでいることへの自信、誇り、夢を育む「まちの情報紙」を目指します。

また、行政情報を電子メールで配信するサービスについて、引き続き迅速かつ正確な情報提供に努め、ニーズや利便性を考慮し、配信情報のさらなる拡充を検討します。



財源
内訳

広報購読料	3万円	一般財源	285万円	担当：総務企画課 情報防災室
-------	-----	------	-------	----------------

飯豊町の地方創生の取り組みについて

飯豊町では、昨年度策定した「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少と少子化、高齢化、過疎化等の様々な課題解決に取り組んでいきます。

総合戦略の基本目標である5つの種をまき、育て、29の主要プロジェクトを軸に、数値目標を設定し、着実な推進を図っていきます。

地域の拠点づくりと新たな地域 支えあい活動の創造 **3,342万円**

これまで町が主体的に取り組んできた、筋力トレーニング事業や、なでしこ教室等の介護予防事業を継続して実施するほか、町民自らが介護予防を実践する「いきいき百歳体操事業」等の取り組みを推進します。

町営学習塾の継続実施 「いいで希望塾」 **394万円**

町の将来を担う人材育成を目指し、町営の学習教室を開講します。学習の補完的かつ発展的な学習機会の提供として、①学習の習慣化、②学ぶ意思、③やればできるという3つの自信を育む教育を実施します。

飯豊・農の未来事業 **476万円**

平成26年度実施した飯豊・農の未来賞受賞論文に基づき策定した7つのプランにより、①持続可能な地域自給、②飯豊型水田利活用、③農地の有効活用、④人材確保育成、技術向上、⑤飯豊ブランドの確立、⑥6次産業化推進、⑦ひと・こころ・ふるさと交流などを推進します。

インバウンド事業の推進 **50万円**

「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」に向け、台湾を中心に展開してきたインバウンド事業について、海外からの教育旅行等を積極的に受け入れ、地域資源を活用したグリーンツーリズムや農家民宿体験等のプログラムを提供します。

中小企業振興支援 **7,000万円**

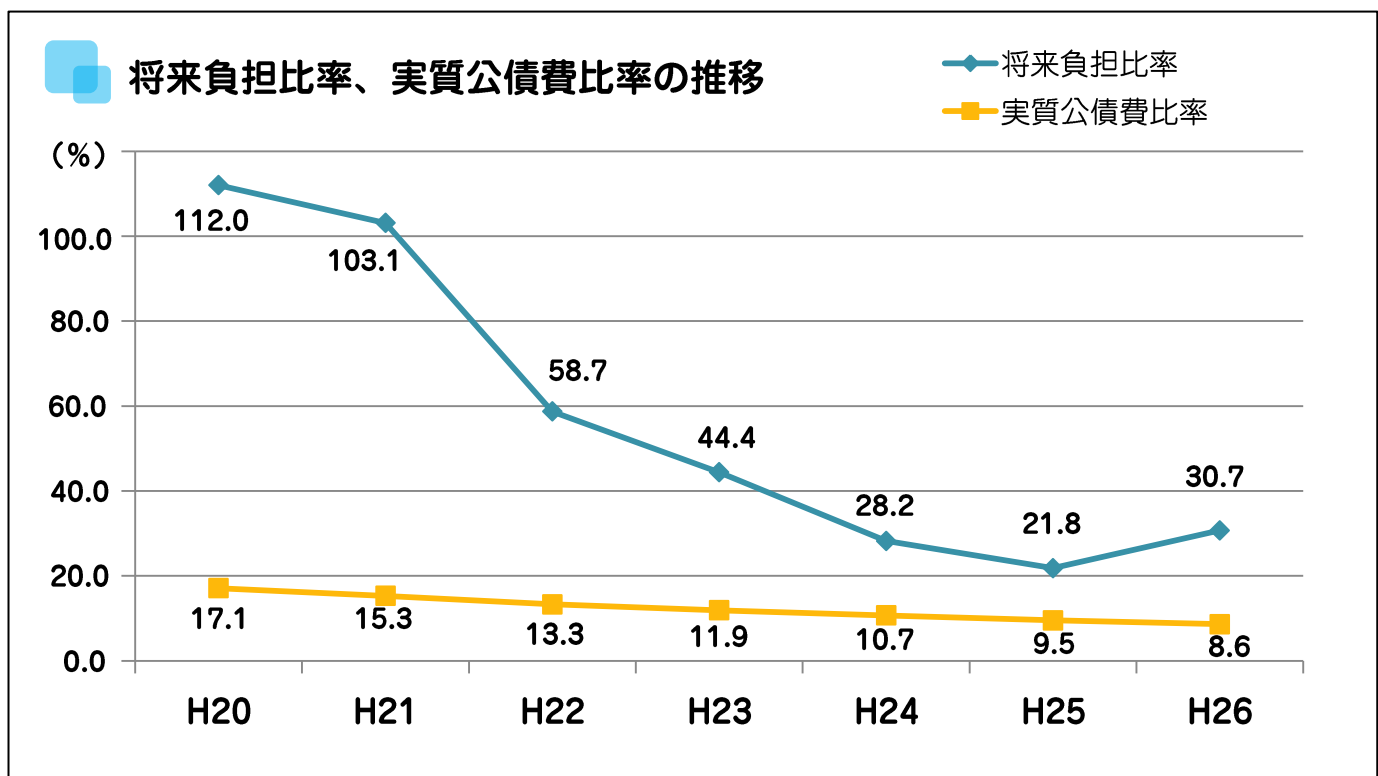
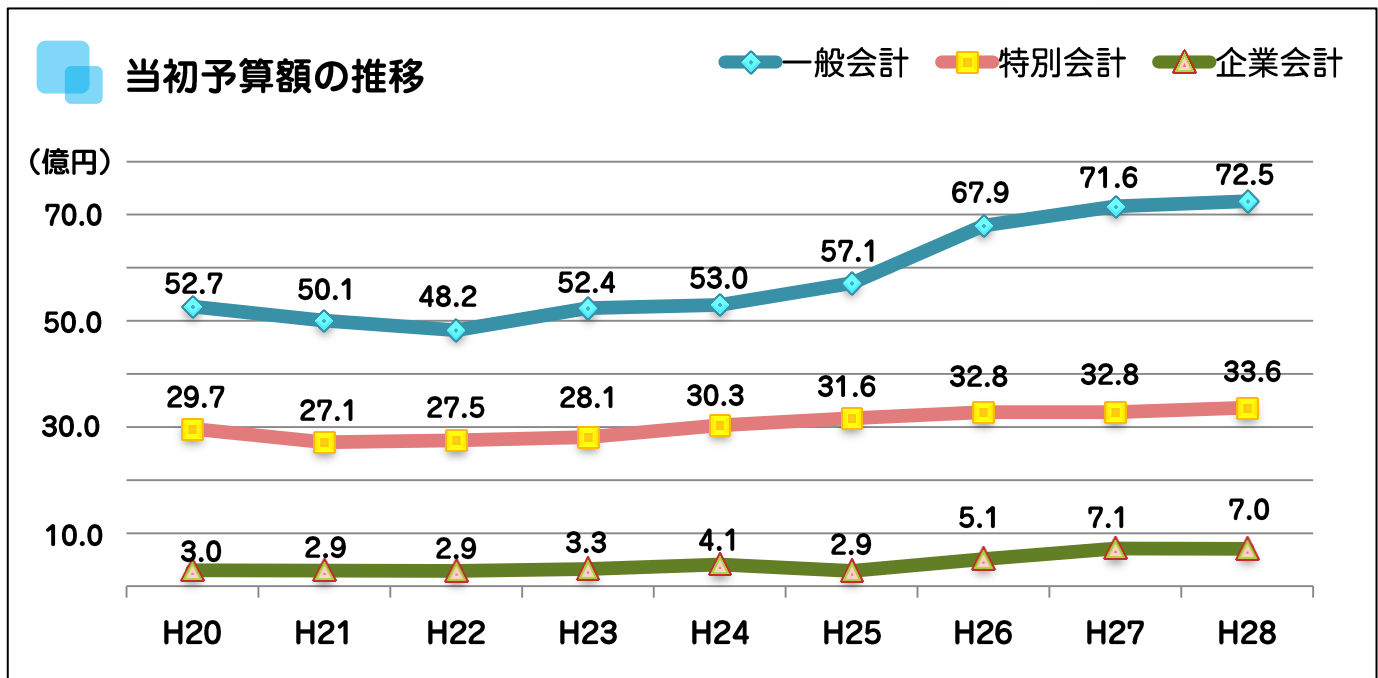
町内企業の雇用拡大に向けた取り組みを支援するため、従業員を新たに雇用し、事業拡大を目指す中小企業の取り組みに対し支援します。その他、創業支援、設備投資支援、商店支援等があります。

食を活かした取組み **228万円**

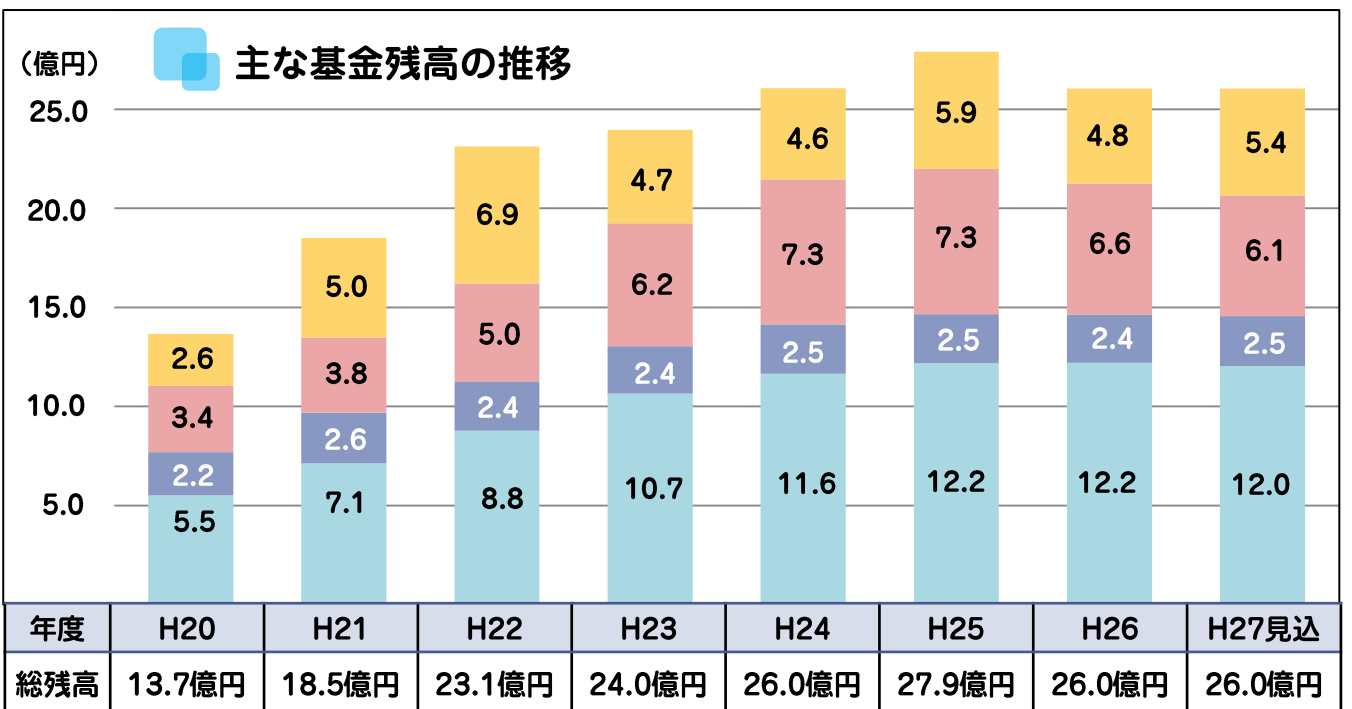
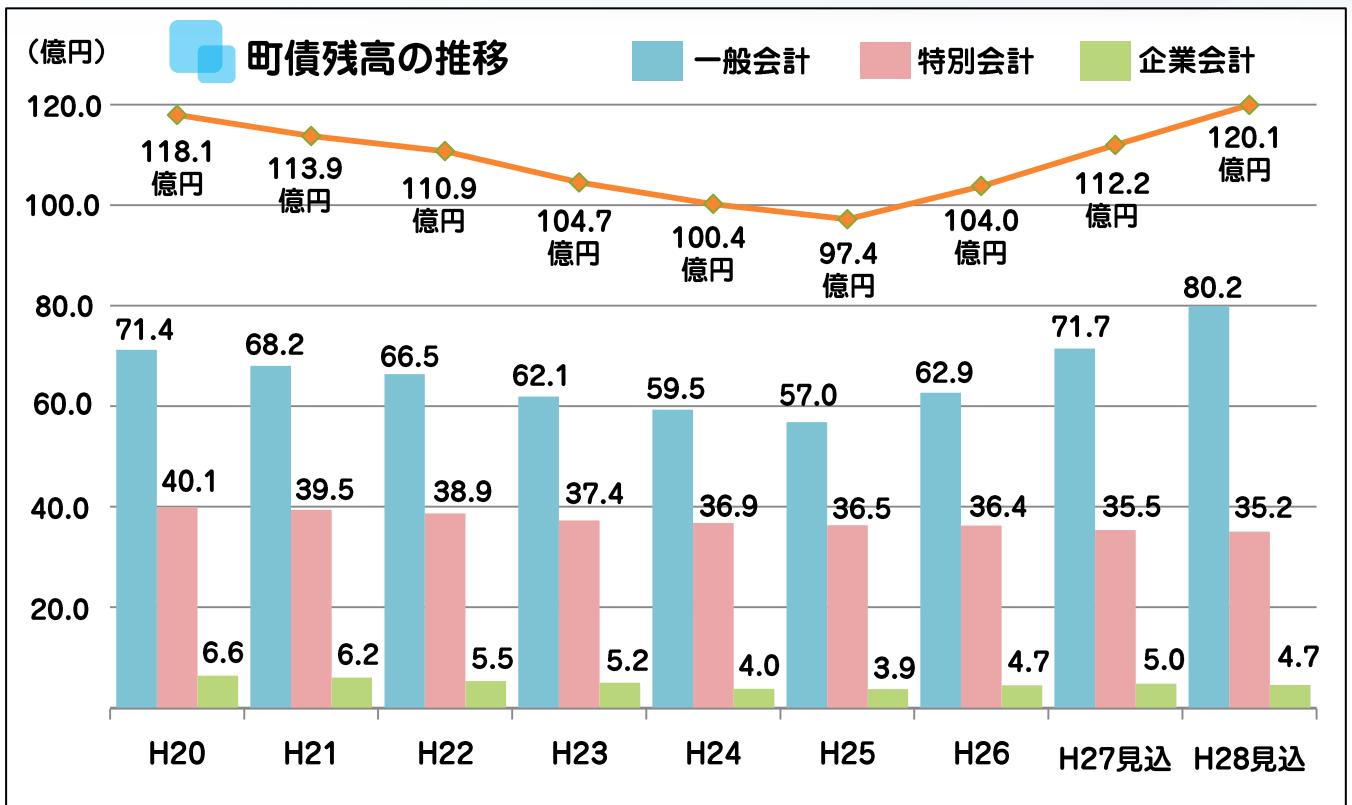
山・川・大地の恵みなど、「食」の宝庫である強みを活かし、食材の特性を活かした料理や加工品開発等を行うとともに飲食店や宿泊施設における「ここでしか味わえない食」の提供や、山菜や野菜を主とした当町の伝統食とヘルスツーリズム、フードツーリズム等の観光と合わせた取り組みを実施します。

※ 飯豊町総合戦略の詳しい内容については、平成28年1月全戸配布の概要版をご覧ください。ホームページでも全文を公開しています。

資料編



- ※ 1 当初予算額の推移において、特別会計は国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、訪問看護特別会計、介護老人保健施設特別会計、物品調達特別会計、下水道事業会計（旧農業集落排水事業、旧生活排水個別処理事業）、および各財産区特別会計の合計です。
- ※ 2 将来負担比率とは、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。
- ※ 3 実質公債費比率とは、一般会計等が負担する借入金の返済分が標準財政規模でどの程度あるかを示した比率です。



■ 財政調整基金
 ■ 減債基金
 ■ 公共施設整備基金
 ■ その他基金

※ 特定の目的に使用するためや、税収減、災害の発生などの予期しない経費の支出に対応するために計画的に基金の積み立てを行っています。
 ここに計上した基金は、財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金、地域振興基金、地域福祉振興基金、いいでめざみの里応援寄附基金、スポーツ振興基金の合計です。

- 発行年月 平成28年4月
- お問い合わせ先 飯豊町役場 総務企画課 総合政策室
〒999-0696
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2,888番地
電話 0238-87-0521（直通）
- ご意見・ご感想をお寄せ
ください 電子メール
iide-info@town.iide.yamagata.jp
- もっと詳しく知りたい方は



the most beautiful
villages in japan

飯豊町
山形県

飯豊町は「日本で最も美しい村
連合」に加盟しています。